

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年9月7日(2017.9.7)

【公表番号】特表2017-507700(P2017-507700A)

【公表日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2017-012

【出願番号】特願2016-550495(P2016-550495)

【国際特許分類】

A 6 3 B 69/36 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 69/36 5 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月21日(2017.7.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

スイングトレーニング補助具であって、

- a 第1の端部と第2の端部とを有するシャフトであって、前記シャフトは前記第1の端部近傍から前記第2の端部近傍へ延びる経路を形成するものである、前記シャフトと、
 - b 前記シャフトによって形成される前記経路に配置される往復運動部材と、
 - c 前記シャフトの前記第1の端部に取り付けられたグリップと、
 - d 前記グリップに着脱自在に固定され、前記シャフトの前記第1の端部と協動するように配置された端部キャップと
- を有するスイングトレーニング補助具。

【請求項2】

請求項1に記載のスイングトレーニング補助具において、このスイングトレーニング補助具はさらに、前記端部キャップに固定され、前記往復運動部材が前記シャフトの前記第1の端部近傍にある時に当該往復運動部材と協動するように配置された第1のインサートを有するものである、スイングトレーニング補助具。

【請求項3】

請求項2に記載のスイングトレーニング補助具において、前記第1のインサートは、前記往復運動部材が当該第1のインサートに接触した時に聞き取り可能な音を立てるように構成されているものである、スイングトレーニング補助具。

【請求項4】

ゴルフ用スイングトレーニング補助具であって、

- a 第1の端部と第2の端部とを有するシャフトであって、前記シャフトは前記第1の端部近傍から前記第2の端部近傍へ延びる経路を形成するものである、前記シャフトと、
- b 前記シャフトによって形成される前記経路に配置される往復運動部材と、
- c 前記シャフトの前記第1の端部に取り付けられたグリップと、
- d 前記シャフトの前記第1の端部と協動するように配置され、前記往復運動部材が前記シャフトの前記第1の端部近傍にある時に当該往復運動部材と協動し且つ前記往復運動部材が接触した時に聞き取り可能な音を立てるように構成されている端部キャップと、
- e 前記シャフトの第2の端部に取り付けられたヘッドであって、当該ヘッドはゴルフボールを打つように構成されているものである、前記ヘッドと、

f 前記シャフトの前記第2の端部と協動するように配置され、前記往復運動部材が前記シャフトの前記第2の端部近傍にある時に当該往復運動部材と協動し且つ前記往復運動部材が接触した時に聞き取り可能な音を立てるように構成されているインサートとを有するスイングトレーニング補助具。

【請求項5】

請求項4に記載のスイングトレーニング補助具において、このスイングトレーニング補助具はさらに、前記シャフトによって形成される前記経路に着脱自在に固定されるストッパーを有するものであり、それにより当該ストッパーが前記経路の全長を短くするものである、スイングトレーニング補助具。

【請求項6】

請求項4に記載のスイングトレーニング補助具において、このスイングトレーニング補助具はさらに、ロック装置を有するものであり、このロック装置は、前記シャフトによって形成される前記経路に少なくとも部分的に配置され、それにより当該ロック装置はその作用時に、前記往復運動部材が往復運動するのを阻止するものである、スイングトレーニング補助具。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

残念ながら、現在入手可能なスイングトレーニング補助具は、不便で、扱いにくい場合があり、また、しばしばゴルファーのスイングの1若しくは2要素のみを向上させることが狙いである。その上、力とタイミングを増加させる幾つか目的では、ゴルファーがボールを前記補助具により打つことができない。その他のものは単純に前記クラブを適切なスイング面に沿ってガイドするものである。ゴルファーがスイング技巧を向上させることができる装置であって、使用および運搬するのに便利であり、タイミングと適切なスイング技術を教え、且つ、ゴルファーにゴルフボールを打つことを可能にする装置は望ましいであろう。ゴルファーが適切なゴルフスイングを行う時に触知可能で肯定的なフィードバックを提供する装置を供給することはさらに望ましいであろう。

この出願の発明に関連する先行技術文献情報としては、以下のものがある（国際出願日以降国際段階で引用された文献及び他国に国内移行した際に引用された文献を含む）。

（先行技術文献）

（特許文献）

（特許文献1）	米国特許第4,969,921号明細書
（特許文献2）	米国特許第7,704,160号明細書
（特許文献3）	米国特許第1,676,270号明細書
（特許文献4）	米国特許第3,137,504号明細書
（特許文献5）	米国特許第3,498,616号明細書
（特許文献6）	米国特許第4,027,886号明細書
（特許文献7）	米国特許第5,634,856号明細書
（特許文献8）	米国特許第5,711,718号明細書
（特許文献9）	米国特許第6,461,163号明細書
（特許文献10）	米国特許第6,500,074号明細書
（特許文献11）	米国特許出願公開第2012/0094780号明細書
（特許文献12）	米国特許出願公開第2010/0184526号明細書
（特許文献13）	米国特許出願公開第2004/0009824号明細書
（特許文献14）	米国特許出願公開第2005/0009618号明細書
（特許文献15）	米国特許出願公開第2005/0192112号明細書
（特許文献16）	米国特許出願公開第2012/0244957号明細書

(特許文献 1 7) 米国特許出願公開第 2 0 0 2 / 0 1 9 3 1 8 7 号明細書

(特許文献 1 8) 米国特許出願公開第 2 0 0 5 / 0 0 2 6 7 1 1 号明細書

(特許文献 1 9) 国際公開第 2 0 0 5 / 0 8 2 4 7 3 号